

■米国：景気対策法によるスマートメーター導入数が 200 万台を突破

チュー・エネルギー省（DOE）長官は 2010 年 8 月 31 日、オハイオ州で行われた講演において、景気対策法（ARRA2009）によるスマートメーター導入台数が 200 万台を突破したと発表した。同長官は、ARRA2009 による莫大な投資補助がスマートメーターを含むスマートグリッド技術の導入を促進しているとしており、「スマートグリッド技術の進展によって需要家が自身の電力消費量を確認し、コントロールすることが可能となるだろう」とコメントしている。なお、メディア報道によれば 2010 年 8 月時点における全米大でのスマートメーター導入台数は約 1,600 万台とされており、すでに州当局の認可済みで今後導入が予定されている台数は 3,400 万台に達する見込みである。